



今月の表紙

cover photograph



①なぎなたの型の演技（牛窓会場）



②折り紙で作られた精巧な作品を一つ一つ見る来場者（牛窓会場）



③講演会「宇喜多秀家と八丈島」（邑久会場）



④市民創作展を見る来場者（邑久会場）



⑤大正琴のステージ発表（長船会場）

瀬戸内市文化祭が開催されました。開催期間と会場を3つに分け、10月22・23日には中央公民館（邑久会場）で、10月29・30日には牛窓町公民館（牛窓会場）で、11月5・6日には長船町公民館（長船会場）で行われました。邑久会場で開催された講演会「宇喜多秀家と八丈島」では、講師の柴田一氏（岡山県郷土文化財団理事長）が宇喜多秀家の一生について、八丈島での生活の様子や人柄にまつわる話をまじえながらわかりやすく講演を行いました。また長船会場では今年で25周年を迎える備前長船菊花展も開催され、講座受講生や愛好家の皆さんが育てた市の花「菊」が見事に咲いていました。日没から午後8時までライトアップ（表紙写真）も行われ、来場者は幻想美を楽しんでいました。

平和への誓い、新たに 戦没者追悼式

11月11日、先の大戦における戦没者に対して追悼の誠をささげるため、ゆめトピア長船で戦没者追悼式を行いました。

式典には、太平洋戦争などで犠牲になった戦没者1,378柱の遺族の皆さんのほか、約250人が参列しました。君が代斉唱、黙とうに続き、武久顕也市長が、「尊霊の犠牲により築かれた郷土・瀬戸内市の保全と発展を目指し、一層努力する覚悟です」と式辞を述べました。

その後、来賓や遺族など参列者の皆さんは、市職員から白菊を手渡されると、祭壇の前に献花を行い、戦没者に鎮魂の祈りをささげました。



献花を行い、祈りをささげる参列者（左上）／式辞を述べる武久市長（右下）

訪れた観客を魅了しました 牛窓秋祭り



沿道をわかせただんじり（左下）／疫神社などで奉納された唐子踊（右上）

10月23日、牛窓町牛窓地区一帯で牛窓秋祭りが開催され、太刀踊や唐子踊の奉納、みこしのお旅所巡り、だんじりの巡行などが行われました。

太刀踊が綾浦地区の御霊社で行われた後、10時頃から牛窓神社でおはらいを受けたみこしが地域各所に設けられたお旅所を目指して出発しました。紺浦地区では疫神社などで異国風の衣装を着た踊り子による唐子踊が行われ、踊り子も乗り込んだ船形のだんじり5基には地区内を練り歩きました。だんじりの集合場所は、多くの観光客が訪れ、各所からだんじりが集まってくるとにぎやかな歓声が上がっていました。

いつまでもお元気で 古武鹿江さんが満100歳に

11月24日、満100歳を迎えた古武鹿江さん（邑久町本庄）をお祝いに、西村公夫備前県民局健康福祉課長や土井和子保健福祉部長らが、古武さんが普段から利用している施設を訪問しました。古武さんは、家族や職員に囲まれ、お祝い状を受け取りました。

結婚してからは農業を営み苦勞しながら3人の子を育てました。「長男と年が離れて娘たちが誕生したことが嬉しかった」と笑顔で話していました。麺類や甘い物が好物で、施設での昼食はうどんが用意されていました。

古武さん、これからも元気で過ごしてください。



お祝い状を手にした家族に囲まれる古武さん（中央）

朝鮮通信使行列を再現 瀬戸内牛窓国際交流フェスタ

11月12日・13日、牛窓町牛窓で市民有志により瀬戸内牛窓国際交流フェスタが開催され、13日には朝鮮通信使行列が行われました。

朝鮮通信使行列は、江戸時代に朝鮮王朝から徳川幕府へ派遣された朝鮮通信使の行列を再現したもので、募集に応じた市民を含む約160人が行列に参加し、華やかな衣装を身につけて行進しました。大韓民国の密陽市からは農楽隊が参加して、サムルノリという民俗音楽を披露しました。

本蓮寺に到着すると、正使役の金永俊駐神戸韓国総領事と藩士役の武久顕也市長が「国書」を交換して、両国の善隣外交を祈念しました。



本蓮寺へ向かう朝鮮通信使行列